

**第35回価格.comリサーチ『新型インフルエンザ対策状況調査』結果****新型インフルエンザ対策、積極的なのは温暖な九州地方！？**

**全体では「うがい」「手洗い」が約8割、4人に1人は予防に「お金使わない」  
一方で、ウイルス対策機能付きの「空気清浄機」が人気急上昇**

株式会社カクコムが運営する購買支援サイト「価格.com (<http://kakaku.com/>)」が実施したユーザーへの意識調査「価格.comリサーチ」より、第35回調査『新型インフルエンザ対策状況調査』から、結果を一部抜粋の上、ご案内します。今年2009年冬は、新型インフルエンザの世界的な流行が懸念されています。そんな中、一般の方々が、新型インフルエンザの予防にどの程度力を入れているのか、空気清浄機や加湿器などの購入状況なども合わせて調査しました。

※このアンケート内での「新型インフルエンザ」は、「H1N1型」を想定しております。

詳細結果：<http://kakaku.com/research/backnumber035.html>

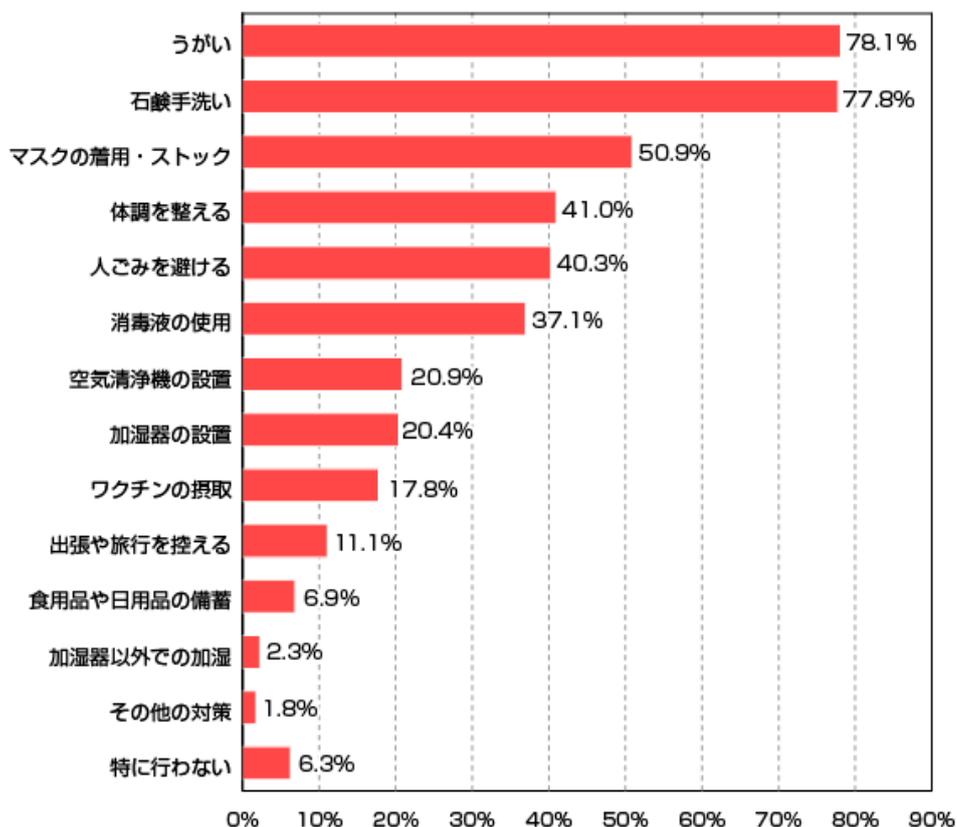
**新型インフルエンザ対策：多くの人が流行に備える**

**「うがい」「手洗い」約80%、「マスクの着用・買いため」約50%**

新型インフルエンザの流行に対して今行っている、または今後行う予定の対策として多かったのは、「うがい」「手洗い」でいずれも8割近い。手軽な予防方法として、広く認知されている様子が見える。「マスクの着用・ストック」も5割に達しており、かなり多くの方がすでにマスクの着用や買いためなどを行って、流行に備えていることがわかった。

なお、家電製品関連で見ると、「空気清浄機の設置」や「加湿器の設置」も2割を超える人が行っている、または行う、と回答しており、こちらも思ったよりも高い数値を出した。ワクチンが不足しているという問題はあるものの「ワクチン接種」という回答が17.8%となったことは、インフルエンザ対策としてはかなり高い割合になっているといえるだろう。

【図1. 今行っている、またはこれから行う新型インフルエンザ対策をすべてお選びください】



## 都道府県別の新型インフルエンザ対策率：1位は福井県・2位は熊本県 より活発に対策を行っているのは、比較的温暖な九州などの地方が多い結果に

なんらかの新型インフルエンザ対策を行っているという回答者の割合を都道府県別で算出した。これによれば、対策を行っている人の割合が多い都道府県の上位5位は、福井県、熊本県、沖縄県、宮崎県、福岡県となっており、九州以南の県が意外に多いという結果になった。この結果から特に目立った傾向が見られるとは言いがたいが、インフルエンザウイルスが活動しやすいといわれる寒くて乾燥する地方ではなく、比較的温暖な九州などの地方で、より多く対策が行われているという点は興味深い。同じ北陸地方でも、福井県と、富山・新潟県ではまったく違う傾向を示すなど、単純な地域分けは難しい状況だ。

【図2. 新型インフルエンザ対策実施率ランキング（都道府県別）】

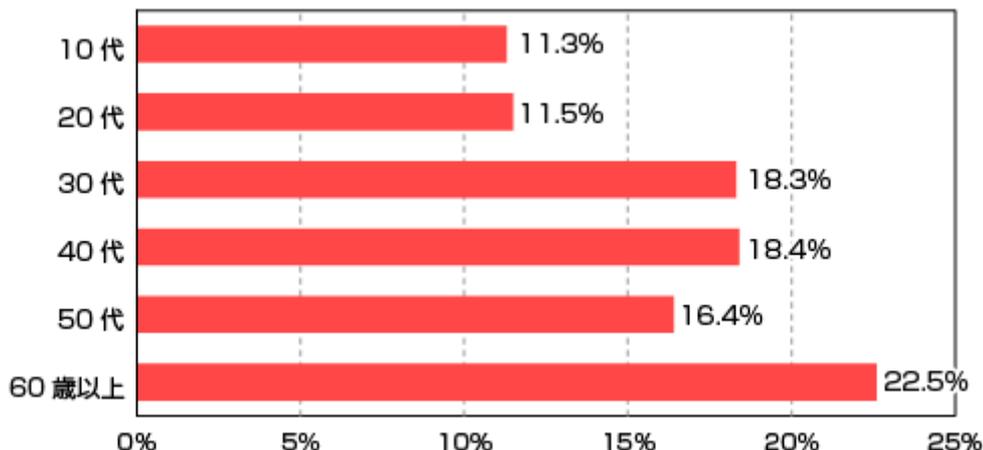
新型インフルエンザ対策をしている人の割合が高い都道府県上位5位

順位	都道府県	割合
1	福井県	97.7%
2	熊本県	97.4%
3	沖縄県	96.6%
4	宮崎県	95.9%
5	福岡県	95.9%

## ワクチン接種：高齢になるほど希望者が増加、若者の重症化が多い現状とギャップ

新型インフルエンザのワクチン接種を希望する人の割合を世代別に集計したところ、50代で一部例外的な動きはあるものの、基本的には高齢になるほどワクチン接種希望者の割合が高くなっていることがわかる。若いほど健康や体力に自信があり、ワクチンを接種しなくても大丈夫と考える傾向が強いのかもしれないが、今回の新型インフルエンザは若者の重症化や死亡例が多く、若いからといって油断するのは禁物といえる。すでに多く報道されているとおり、ワクチンの供給量が不足しているため、現状では希望通り接種を受けられない状況にあるものの、この結果を見る限りでは、世代間で少しワクチン接種に対する認識のギャップが生じているようだ。

【図3. 世代別に見た新型インフルエンザワクチン接種希望者の割合】

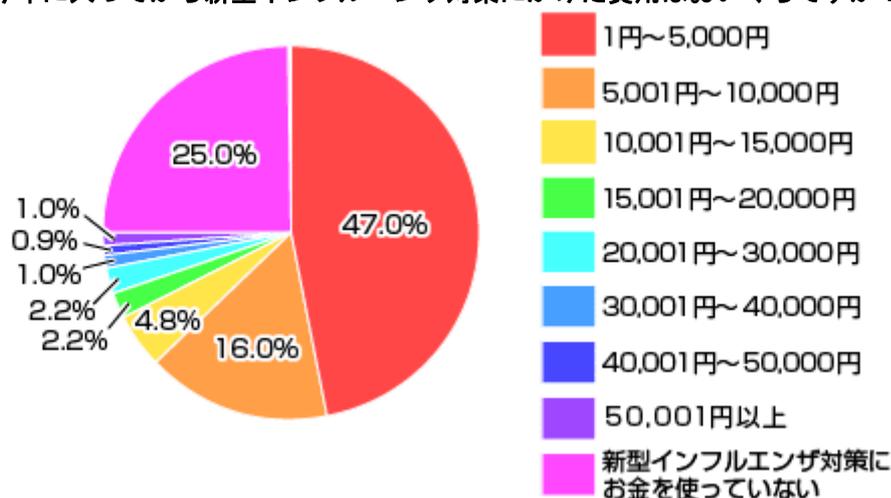


## 新型インフルエンザ予防対策費用：平均は 5,155 円 マスク着用など手軽な予防が中心、4 人に 1 人は「費用をかけていない」と回答

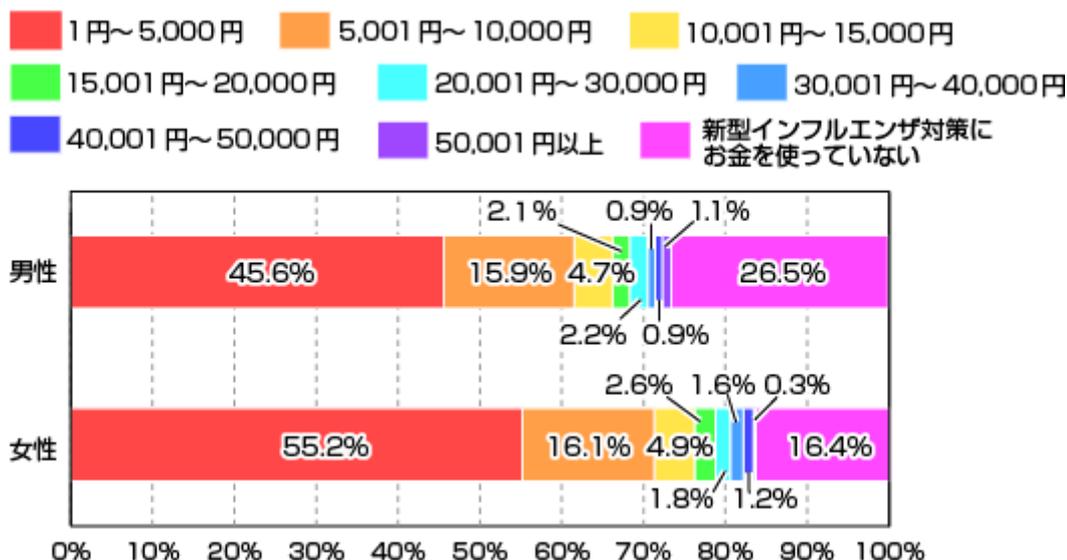
新型インフルエンザが全世界的な猛威をふるい始めた今年に入ってから、その対策費用を聞いたところ、「5,000 円以下」という割合がもっとも多く、全体の半数近くを占めた。また、「お金を使っていない」という割合も 25% を占め、全体の平均額では 5,155 円という結果になっている。

この結果から考察できるのは、インフルエンザ対策とは言っても、今行っているのは比較的手軽なマスクの着用などが中心で、空気清浄機などの機器を購入する人は少数であるということだ。また、4 人に 1 人が特に何も購入せず、うがいや手洗いなどの普段から行える予防措置のみで済ませているということになる。なお男女別にこの結果を見ると、男性のほうがお金をかけている割合が少なく、女性のほうが、新型インフルエンザに対しての予防に気を使っている様子も見受けられる。

【図 4. 今年に入ってから新型インフルエンザ対策にかけた費用はおいくらですか？】



【図 5. 今年に入ってから新型インフルエンザ対策にかけた費用はおいくらですか？（男女別集計）】



## 都道府県別の予防対策費用：1 位は山形県(7,202 円)、2 位は宮崎県(7,194 円)

新型インフルエンザ対策にかけた費用を都道府県別に集計し、費用が多かった県の上位 5 位を算出した。図 2 の結果と近似し、やはり九州地方の各県で比較的多くなったが、一方で東北地方の山形県が 1 位になるという意外な結果になった。

ただし、この結果からなんらかの因果関係を推察するのは難しいだろう。

【図 6. 今年新型インフルエンザ対策にかけた費用ランキング（都道府県別集計）】

今年新型インフルエンザ対策にかけた費用が多い都道府県上位 5 位

順位	都道府県	割合
1	山形県	¥7,202
2	宮崎県	¥7,194
3	大分県	¥6,905
4	長崎県	¥6,091
5	奈良県	¥5,975

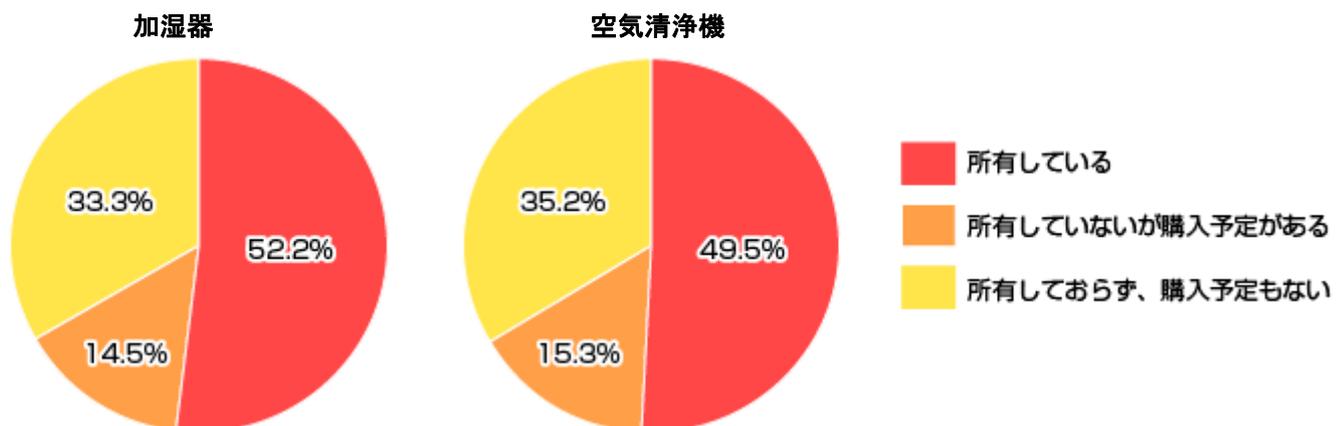
### 加湿器および空気清浄機：「所有している、または購入予定」が、共に 3 分の 2 程度

インフルエンザや風邪の予防に効果的とされる「加湿器」の所有状況を聞いたところ、半数以上の 52.2%が「所有している」、14.5%が「購入予定」と回答した。

また、インフルエンザなどのウイルス制御に一定の効果があるとされる「空気清浄機」の所有状況も加湿器とほぼ同じ結果で、半数近い 49.5%が「所有している」、15.3%が「購入予定」となった。

これにより「加湿器」「空気清浄機」共に 3 分の 2 程度が「所有している、または購入予定」。残る 3 分の 1 程度が、「所有しておらず購入予定もない」という結果になっている。

【図 7. 加湿器・空気清浄機の所有状況】



### 空気清浄機の購入時期：新型インフルエンザ流行に合わせ購入者が増加 花粉対策シーズン終了後も売れ行き落ちず

空気清浄機の所有者に対し購入時期を聞いた結果と合わせ、昨年 2008 年の『価格.com』空気清浄機カテゴリの PV 数の遷移も図に表した。PV が多い月ほど、空気清浄機が注目され販売数も多かったと考えていただきたい。

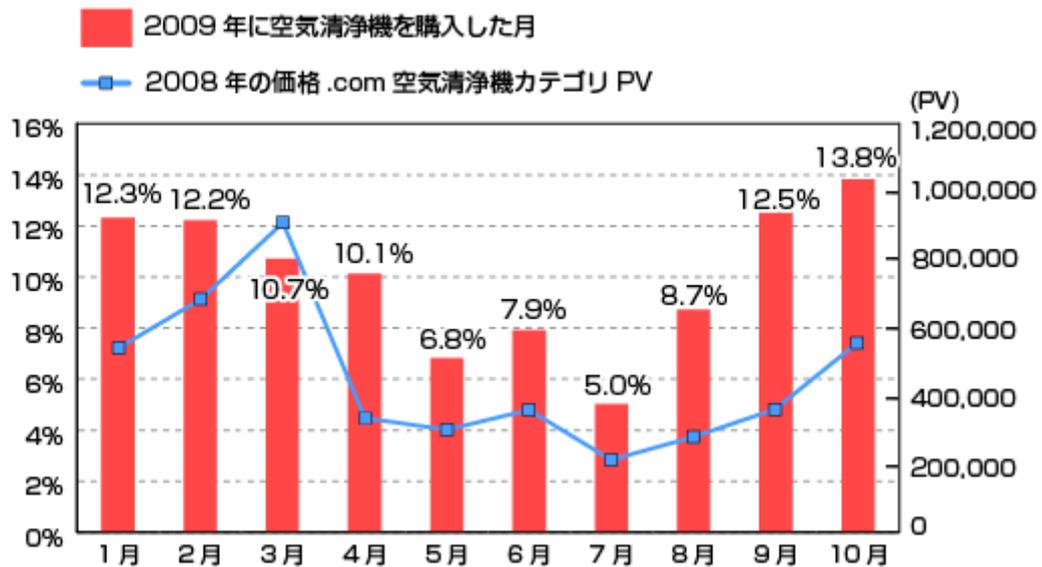
昨年の PV を見てもわかるように、一般的に空気清浄機という製品は、春先のスギ・ヒノキ花粉が多く飛散する 2~3 月をピークとして売れ、その時期が終われば売れ行きは極端に落ちこむ傾向にある。しかし、今年は 4~5 月に新型インフルエンザの世界的流行が伝えられたため、空気清浄機カテゴリの PV も例年ほど落ちずに推移し、通常はオフシーズンとなる夏期にも上昇が見られるなど、例年と違う動きをしているのが特徴となっている。（※）

このことを裏付けるように、今回の回答結果でも 4~6 月前後に空気清浄機を購入した人が予想以上に多い。また新型インフルエンザの国内流行が始まった 8 月以降は、空気清浄機を購入する人が軒並み増えており、今後ますます増加することが予想される結果となっている。

※参考：『価格.com トレンドニュース』空気清浄機に関するレポート（2009 年 10 月 1 日発表）

<http://kakaku.com/trendnews/weekly/articles/0910/116.html>

【図 8. 今年空気清浄機を購入した人の購入時期と、2008年の『価格.com』空気清浄機カテゴリPV】



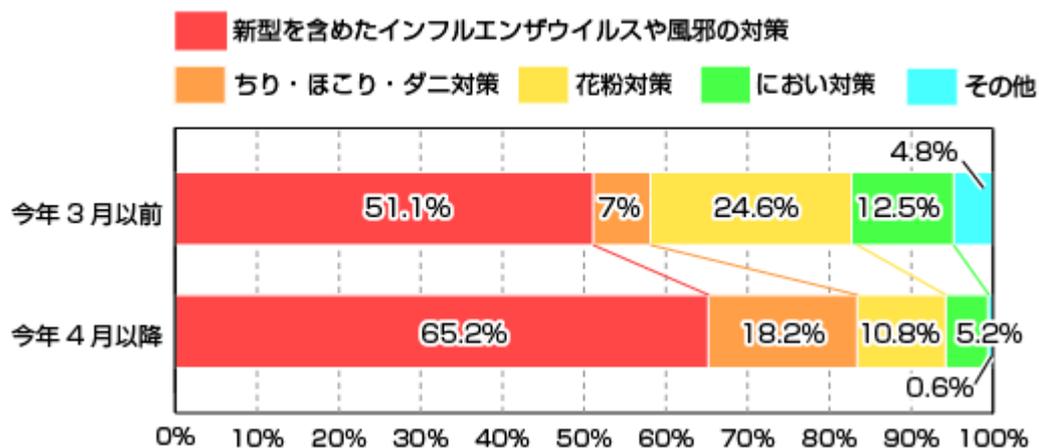
### 空気清浄機の購入目的：「花粉対策」から「風邪・インフルエンザ対策」へとシフト

空気清浄機の購入目的が、新型インフルエンザの世界的流行が報道され始める以前（2009年3月以前）と、それ以降（2009年4月以降）で、どのように変化したかを示したのがこの図だ。

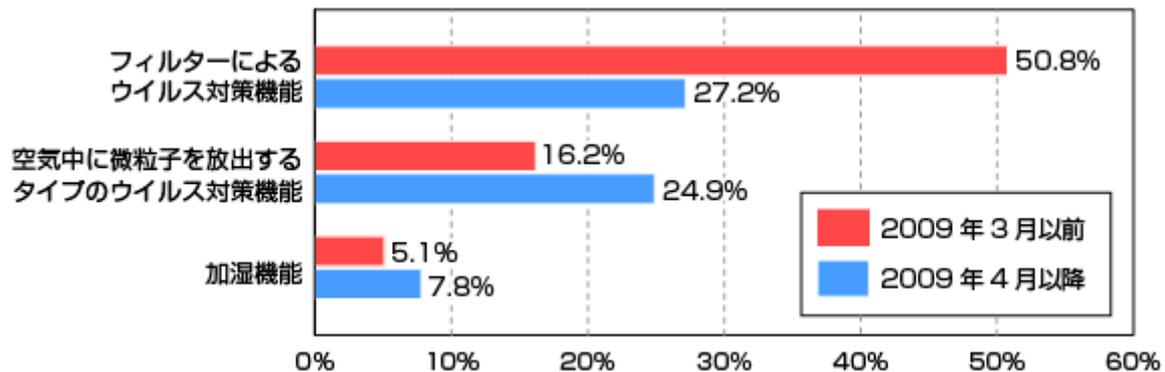
いずれの場合も「風邪やインフルエンザの予防」が筆頭に位置するが、今年3月以前では51.1%だったのに対し、今年4月以降では65.2%にまで増え、圧倒的な割合を占めるに至っている。これに対し、従来の空気清浄機に多く求められていた「花粉対策」は、24.6%から10.8%へと大きく割合を減らしており、「空気清浄機＝風邪・インフルエンザ対策」というイメージが強くなってきている状況が見取れる。

また、所有する空気清浄機に搭載されている機能を購入時期別に比較すると、2009年3月以前では「フィルターによるウイルス対策機能」がメインであったのが、2009年4月以降になるとその割合は減り、「空気中にイオンなどの微粒子を放出するタイプのウイルス対策機能」の割合が増えていることがわかる。

【図 9. 空気清浄機を購入した、または購入する主なきっかけはなんですか？（購入時期別）】



【図 10. 所有している、または購入予定の空気清浄機の機能として、あてはまるものをすべてお選びください（購入時期別）】



【所有している空気清浄機のメーカー（購入時期別）】

詳細結果は右記URLにてご確認ください <http://kakaku.com/research/backnumber035.html>

【調査パネルについて】

調査エリア：全国 調査対象：価格.comID 登録ユーザー

調査方法：価格.com サイトでの Web アンケート調査 回答者数：7,274 人

男女比率：男 85.1%：女 14.9% 調査期間：2009年10月22日（木）～2009年10月26日（月）

調査実施機関：株式会社カカコム

■総評（抜粋） 鎌田剛 カカコム メディアクリエイティブ部 部長

==一部抜粋==

これから本格的な冬に入り寒くなると、新型インフルエンザの流行は世界的にますます加速することが予想されるが、これは家電業界、特に空気清浄機市場に大きな影響を与えていると言えるだろう。空気清浄機市場全体が大きく注目を集めており、例年にない立ち上がりの早さを記録しているが、これから年末年始にかけて、この人気はますます高まっていくだろう。特に今年は、「インフルエンザウイルスの対策機能」の有無が、製品の売れ筋を大きく左右することが予想される結果となっている。

※詳細結果、総評全文および過去のリサーチアーカイブは以下 URL をご参照ください

<http://kakaku.com/research/>

【価格.com データ】（2009年10月末現在）

月間利用者約 2,090 万人、月間ページビュー約 7 億 8,044 万 PV、累計クチコミ件数約 1,000 万件

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社カカコム 広報担当 甲斐 内山 e-mail: [pr@kakaku.com](mailto:pr@kakaku.com) Tel:03-5805-7511